

2 中東を読み解く：歴史、社会に目を向けて

昨年から断続的に続く、ガザ・イランを含めた中東全域での戦争は、ガソリン価格の上昇など私たちの生活にも多くの影響を与えています。この厳しい現状を理解するとき、「イスラーム共和制」、「テロ組織」などの単語が独り歩きして、私たちと全く異なるメンタリティ、思想のもとで戦争が行われている印象を持たれている方も多いかもかもしれません。この講座では、少し視野を広げて中東の社会、歴史を振り返ることを通じて、センセーショナルな言動の裏に隠れてしまいがちな現地の人々の思いや考え方に迫っていきたいと思います。

会 場	対 面： 広島大学きてみんさいラボ（広島駅南口 広島JPビルディング2階） オンライン： -
時 間	14：00～15：15
定 員	対 面： 20 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5（月）

イスラームと中東の多宗教社会

講 師： 大学院人間社会科学研究科 准教授 池端 路子

第1回

10/25（日）

14：00～15：15

第一回は、世界で20億人を超える人口規模であるイスラームという宗教について、その基本となる「六信五行」の概念についてお話しします。また、中東地域は決してイスラーム教徒だけで構成されているわけではありません。キリスト教やユダヤ教の聖地・遺跡なども紹介しつつ、中東地域の宗教的多様性についてもお話ししていきます。

中東の多宗教社会と異文化包摂の歴史

講 師： 大学院人間社会科学研究科 助教 徳永 佳晃

第2回

11/1（日）

14：00～15：15

第二回は、中東社会の歴史に関して、特にイスラームと他の宗教、法体系との接触に目を向けつつお話しします。この話では、中東は古代から現代にいたるまで多宗教が共存している社会であること、その多様性のもとでイスラームの歴史も育まれたことに目を向けたいと思います。

「英雄から捕虜へ」：イランとアメリカの100年**講 師： 大学院人間社会科学研究科 助教 徳永 佳晃****第3回****11/8 (日)****14 : 00 ~ 15 : 15**

最終回は、近現代のイランの歩みについて、アメリカとの関係性を中心にお話しします。まずは20世紀前半からイスラーム革命（1979）まで、両国の関係が深まるとともに矛盾が蓄積されていった経緯を述べるとともに、革命から半世紀ほどが経過して岐路に立たされるイラン・イスラーム共和国の今にも光を当てていきます。

**講座内容に関する
お問い合わせ先**

教育学系総括支援室（学士課程担当）

電 話： 082-424-4432

メー ル： kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp